平成１８年度 魚沼自然塾 第４回レポート

平成１８年１２月発行
国土交通省湯沢砂防事務所

１２月９日土曜日、第４回魚沼自然塾を湯沢町公民館で開催しました。まず、午前中にプレイベントとして「掘るまいか」の上映会を行いました。午後からの本番では約８０名にご参加いただいて、「つながりから生まれる地域とくらし」をテーマに、映像とクイズを取り入れた今年３回のおさらい、「災害環境を知る」と題した伊藤和明氏の講演を聞きました。最後に、今年のしめくくりとして、代表の方に修了証をお渡ししました。

＜プログラム＞

１２：００～　開場、受付開始、フォトコン投票

１３：００（第１部）

平成１８年度１～３回講座のまとめ

・各講座の記録ビデオ上映･参加者アンケートの紹介

・おさらいクイズ１「自然塾１００人に聞きました」”

・おさらいクイズ２“ ウルトラクイズ ”

１４：３０（第２部）

伊藤和明氏　ミニ講演「災害環境を知る」

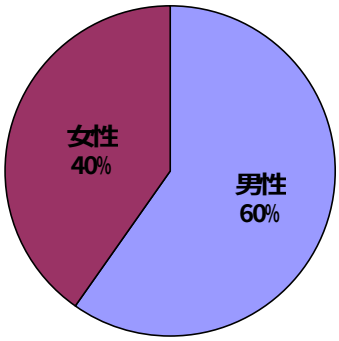
（NPO 法人防災情報機構会長・元 NHK 解説委員）

修了式・フォトコン表彰式

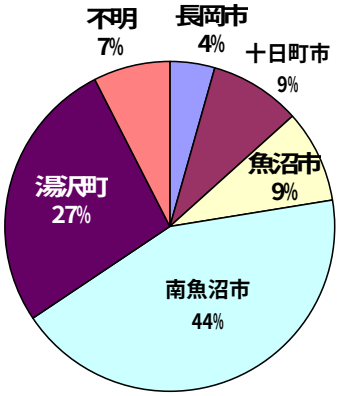
アトラクション　こども「雪おろし太鼓」のみなさん

１６：１０頃　閉会

参加者の性別割合



参加者の地域別割合



午前の部

魚沼自然塾では１７年度に中山隧道の見学、今年度には山古志の見学を行ったことから、ご要望の多かった、「掘るまいか」の上映会を行い、５０名を越える皆様に鑑賞していただきました。

〈アンケートより〉

- 去年山古志隋道を見学したのでこの映画を見てとても感動しました。（女性）
- 山村の人達は何事にも団結力があり、みんなで力を合わせて掘ったトンネルはたいしたものだと思った。この力を今の若者にと思った。（南魚沼市/男性）
- 地域の人の団結の強さ、目標に向かって突き進む意気に感動しました。（魚沼市/男性）

会場の様子

お昼の時間にフォトコンテストの投票をしていただきました。

今年度の第１回から第３回までの自然塾の内容をパネルにして展示しました。

（第１部）平成１８年度第１～３回講座のまとめ

今年度３回の講座の中で気付いたさまざまな「つながり」について、映像やアンケートで振り返った後、チーム対抗のクイズを行いました。チーム名は「１丁目」「２丁目」「３丁目」。チームリーダーとして湯沢中学校の９名の生徒さんにお手伝いいただきました。

座席を１～３丁目に分け、参加者の皆様にはコミュニティーに見立てたチームに分かれて着席いただきました。

最初のクイズは「自然塾１００人に聞きました」コミュニティーで相談して答えを考えています。

「クイズ自然塾１００人に聞きました」とは？

「地域づくりに必要なものは？」などについて、アンケートでどのような回答が多かったかを当てるクイズにしました。答えた人数がチームの得点になります。

第３回講座のアンケートでは、地域づくりに必要なのは「コミュニティ（人のつながり）」と答えた方が圧倒的に多く、チームの勝敗を決定付ける問題となりました 。

次のクイズは、チーム代表者合計３６名による○×クイズ５問。途中でのインタビューのようす

予想外の展開となり、最後まで残ったのは１名。総合得点での優勝は３丁目チームでした。

＜＜参加者アンケート～おさらいクイズの感想～＞＞

- アンケート調査の結果発表は参加者がどう思っているかを知ることができよかった。又、その結果をクイズにしたのは大変良かったと思います。新しい形式のクイズで楽しめた。（魚沼市/男性）
- 今年の自然塾は今回を含めて 2 回しか参加出来ず残念でしたが、このおさらいでさらに参加できなかったことが悔やまれました。クイズ楽しかったです。（南魚沼市/女性）
- クイズは変ったスタイルでよかったし、復習ができたし楽しかった。でも 2 位で悔しい。（十日町市/女性）
- おさらいする事により自然塾の学びが日常の生活にも関係するかと考えられます。（十日町市/男性）

（第２部）ミニ講演「災害環境を知る」

NPO 法人防災情報機構会長の伊藤和明氏のお話。

「これから極めて極端な気象現象が起きやすい時代になっていくということをベースにして、我々が災害に備えるために平常時にやっておくこと、それは、自然現象に関する正しい理解を持ち、地域ごとの「災害環境」を知っておくこと。そして、一番大事なのがコミュニティーづくり。いざという時には、公的な情報を得る努力をすること。大きな災害になればなるほど行政の限界を超えますから、自分達で自分達の地区を守るということが大切になってきます。」と、今年のテーマを締めくくるお話しでした。

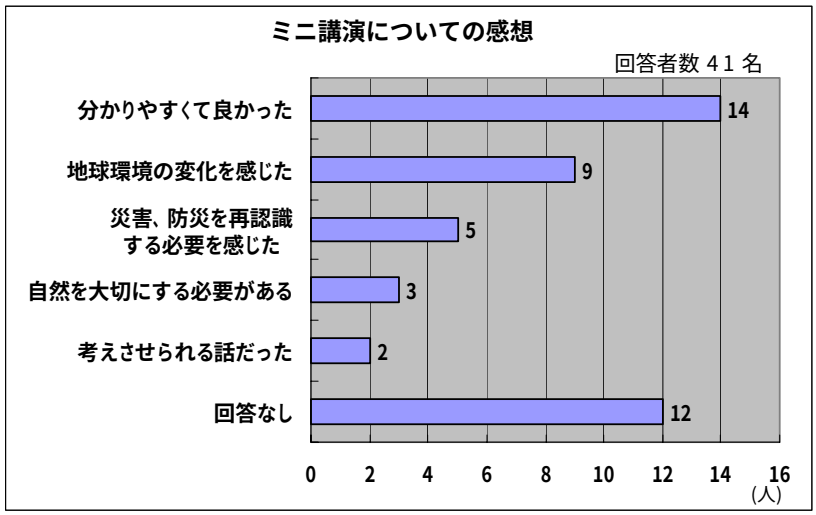
伊藤和明氏

映像を使ってお話しする伊藤氏

メモを取る参加者もいらっしゃいました。

＜＜参加者アンケート～ミニ講演についての感想～＞＞

- 少し難しいと思いましたが自然災害の恐ろしさ、異常気象になっているということがわかりました。（魚沼市/男性）
- 地球の様子が近年変ってきていると言うことをたくさんの具体例を出して、話していただいたので解り易かった。（南魚沼市/男性）
- とても考えさせられる話でした。子どもが夢中でメモを取っていました。（南魚沼市/女性）
- いつも近々の災害をわかりやすく解説してもらいそのこわさを再認識し心の備えを思い起こさせてくれました。（南魚沼市/女性）



修了式・フォトコンテスト表彰式・アトラクション

修了証の授与。代表として３年連続参加のご夫妻に受け取っていただきました。

写真家の平賀治雄さんより、写真の講評をいただきました。

アトラクションはこども「雪おろし太鼓」（湯沢町）の皆さんの元気な演奏でした。

フォトコンテスト入賞作品

自然塾賞
「帰り路、足どり軽く」

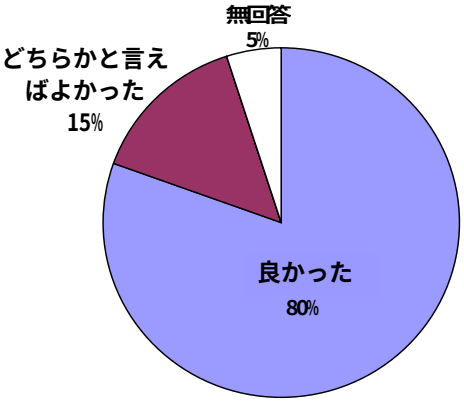
イットー（伊藤）賞
「美人林」

湯沢砂防賞
「災害復旧を聞く 26 のヘルメット」

平賀賞
「アートに乗った子供」

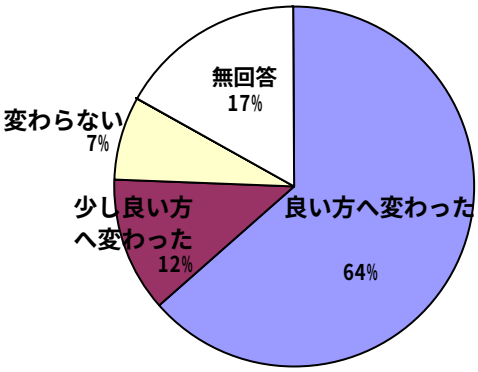
＜＜参加者アンケートから＞＞

自然塾に参加して良かったですか？



- 知らなかった魚沼をずいぶん勉強させてもらった。素晴らしい自然。それと逆に災害の危険に近い場所等々。（南魚沼市/女性）
- 何と言っても地震にあった地元の人々の声を聞き、現地の被災状況、復興状況を見ることが出来たことが良かった。（湯沢町/男性）
- 固いと思っていたのですが、楽しく気楽に参加させていただきました。（魚沼市/女性）
- 同じ魚沼地域も色々な特色があることが分かりました。（十日町市/男性）
- 行ったことのない所、見たことのない所に行って砂防工事も色々あることが分かった。（南魚沼市/男性）

湯沢砂防への印象は変わりましたか？



- 所員の人達が自然災害防止に努力する顔が見えて来ました。（魚沼市/男性）
- 防災について考えるようになった。特に３年前の中越地震被災以降は。又身近なところで治山治水のために湯沢砂防が活躍していることを知った。（魚沼市/男性）
- 工事について興味を持てるようになった。（南魚沼市/女性）
- 記録のフィルムを見せて頂いてとても良い事業だと思い、皆さんに参加をすすめたいと思いました。（湯沢町/女性）
- お役所のやることだからという感じが、参加して多方面に行って、自然の形状が変化している土地に対する工事がうまく行われている。自然を大切にする役所の理解ができました。（南魚沼市/男性）

編集後記

今年の自然塾は「つながり」をキーワードにして各地を見学して、さまざまな「つながり」を発見することができました。各地の災害文化や伝統文化などの過去からのつながり、地域の助け合いなどの横のつながり、そして将来へつなげていくもの。皆さんが自然塾に参加して感じたこと、考えたことを家族や地域の皆さんで話し合っていただければ幸いです。

アンケートでは、湯沢砂防への印象が良い方へ変わったという結果を頂きました。1 年間の締めくくりにご祝儀として甘く採点していただいたかなと思いますが、皆さんからの湯沢砂防への期待の表れとして受け止め、来年度も皆さんの期待を裏切らないよう、がんばっていきたいと思います。お忙しい中、自然塾にご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。来年度も湯沢砂防と自然塾をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先：国土交通省 湯沢砂防事務所「公開講座事務局」
ＴＥＬ：０２５－７８４－２０７３　ＦＡＸ：０２５－７８４－２４４１
ホームページ：http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/